

令和6年度入退室管理アプリ等を活用した児童いきいき放課後事業運営・管理支援業務委託契約
(長期継続)に係る公募型プロポーザル方式による選定結果について

1 案件名称

令和6年度入退室管理アプリ等を活用した児童いきいき放課後事業運営・管理支援業務委託

2 契約期間

契約締結日から令和12年3月31日まで

3 選定した業務委託予定事業者

株式会社ミマモルメ

4 公募期間

令和6年8月20日から令和6年9月20日まで

5 学識経験者等の意見を聴取する選定委員による審査の結果

(1) 選定委員 (敬称略)

選定委員名簿 (敬称略)

柴山 浩一	大阪青山大学子ども教育学部子ども教育学科客員教授
堀 雅洋	関西大学総合情報学部総合情報学科教授
村口 敏彦	大阪市PTA協議会事務局長

(2) 選定会議の開催日

第1回：令和6年8月7日

第2回：令和6年10月2日

(3) 審査基準

審査項目		審査内容	配点
1 基本的事項・体制	事業の趣旨・目的を踏まえた実施方針	・本事業の趣旨や目的を踏まえて、受託業務を実施していくための基本的な考え方となっているか	5点
	事業の趣旨・目的を踏まえた事業計画及び実施スケジュール	・本市が提示する業務の全体スケジュールに基づく効率的かつ実効性の高い事業計画及び実施スケジュールとなっているか ・事業計画及び実施スケジュールについては、活動室の現状を踏まえたものとなっているか ・個人情報等の管理及び情報セキュリティ対策が確実なものとなっているか	5点
	事業を円滑かつ安定的に遂行できる実施体制	・事業を円滑に遂行するための実施体制がとられているか ・仕様書に沿った責任体制、業務執行体制、委託者との連絡体制となっているか	5点
	同様・類似の業務実績	・過去5年以内の官公庁における類似業務の実績を有しているか ・当事業を委託するにあたって十分な実績及び専門性を有しているか	5点
2 業務スキーム及び環境整備	入退室管理アプリ等の活用にあたり必要となる新たな業務スキームの構築	・各活動室の運営・管理業務を熟知した業務スキームとなっているか ・活動室の現状に対応するアプリ等を活用した運営・管理業務スキームとなっているか ・アプリ等に必要の媒体及び端末等の納入・設置等の環境整備について、効率的かつ実効性のある事業計画となっているか	20点
	入退室管理アプリ等を活用することによるいきいき活動室業務の効率性の向上及び安全性の確保	・アプリ等の対象となる業務について（保護者アプリケーション、アカウント管理、入退室管理、保護者負担金の請求管理、保護者連絡機能及び帳票管理機能）について、本事業目的を踏まえ、より良い実現方法となっているか ・アプリ等の入退室管理について、利用児童の安全確保が十分なものとなっているか ・アプリ等の入退室管理について、活動室職員の支援なく児童が自立的かつ正確に入退室時刻の記録ができるものとなっているか ・アプリ等の送り出し管理機能について、活動室職員が保護者の申請した退室予定時刻及び帰宅方法どおりに児童の退室支援を行うことができるものとなっているか	20点
	入退室管理アプリ等を活用した保護者負担金請求管理	・アプリ等を利用して利用児童の入退室情報による保護者負担金請求額の積算及び入金処理ができるものとなっているか ・安全管理経費及び時間延長経費などの保護者負担金制度を認識した仕組みとなっているか	20点

3 研修等	研修等	・アプリ等の運用及び操作に関して、活動室職員が機器操作のスキルが乏しいことを前提とした実効性のある研修計画及び研修内容となっているか	10点
4 価格算定	価格算定書	・1か年度あたりの上限額を超えていないか ・積算明細に単価及び必要数量が明示されているか	10点
合 計			100点

(4) 審査を行った事業者

株式会社ミマモルメ

延長せんせい共同事業体

全2者

(5) 審査の結果（選定委員の評価点の合計点）

審査項目		A社	B社
1 基本的事項・体制	事業の趣旨・目的を踏まえた実施方針	14点	10点
	事業の趣旨・目的を踏まえた事業計画及び実施スケジュール	14点	10点
	事業を円滑かつ安定的に遂行できる実施体制	14点	8点
	同様・類似の業務実績	14点	9点
2 業務スキーム及び環境整備	入退室管理アプリ等の活用にあたり必要となる新たな業務スキームの構築	50点	36点
	入退室管理アプリ等を活用することによるいきいき活動室業務の効率性の向上及び安全性の確保	48点	36点
	入退室管理アプリ等を活用した保護者負担金請求管理	50点	40点
3 研修等	研修等	22点	20点
4 価格算定	価格算定書	26点	18点
合計		252点	187点